



中学生海外英語研修（ホームステイ）の壮行会を開催。

中学生カナダへ旅立ち 未知の体験で世界を広げる

本町の中学2・3年生が参加して実施される本年度の海外英語研修。

昨年度インフルエンザの影響で渡航できなかった生徒も一緒に参加します。

子どもたちはカナダで、何を学び取ってくるのでしょうか。

生涯学習課 ☎ (58) 7080

旅立ちを見送り

本町の中学2年生が海外へ渡航

し、ホームステイを体験する中学生海外英語研修。その壮行会が7月20日、山村開発センターで開かれ、保護者や関係者らが旅立ち前の生徒たちにエールを送りました。

本研修は、次代を担う子どもたちが異なる文化や生活様式に触れ、現地の人々と交流することで、国際性をはぐくんでほしいと平成9年度から始められた事業。今年で12回目を迎えます。昨年度、新型インフルエンザの影響で渡航を断念した15人の生徒も今回のメンバーに加わり、総勢33人が研修に参加しました。

研修先はカナダ・ブリティッシュコロンビア州・バンクーバー。カナダとアメリカの国境沿いの自然豊かな海が美しい町です。子どもたちは現地の人々と環境に触れ、さまざまなことを学びます。

充実した研修に

壮行会では佐藤公敏町長が「研

修では初めてのことが多く、期待と不安でいっぱいだと思う。現地の人たちと上手にコミュニケーションをとってほしい。将来につながるような研修になることを期待しています。元気に行ってください」と激励の言葉を送りました。

それを受けた子どもたちから「現地の人たちと積極的に話をしてきたい。特に日本や川根本町のことについて話したい」「食文化や生活習慣の違いを見て体験して、お互いの良いところを見つけないか」「研修に参加できることに感謝し、充実した研修になるよう頑張りたい」などの抱負が述べられました。

子どもたちは初めての土地で、言葉も通じない人々と10日間を共にします。どんなことを学び、どんな世界を広げて帰ってくるのでしょうか。



大規模災害に屈しないための大きな一歩。

地震への備えは万全に TOUKAI—0を推進中です

本町では静岡県と一体となって「TOUKAI—0」総合支援事業を推進しています。

昨年8月11日に発生した地震の教訓を生かし、

今一度、東海地震に備えた「わが家の耐震対策」を検討してみませんか。

建設課 ☎ (56) 2227

1耐震診断

診断は無料で受けられます。

本町では、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅に無料耐震診断を実施しています。申し込みは電話1本で可能です。



2工法検討

診断結果により、補強工事をするか建て替えるかなど、

耐震対策の工法を検討をします。総合評点が1.0未満の場合は耐震補強工事をお勧めします。



3補強計画

まず、耐震補強工事を施工するための「補強計画」を作成

します。補強計画も専門家（建築士）が作成します。作成費は有料です。

補強計画の作成費用は、立地条件や図面の有無により変わりますが、15万円前後です。この段階で、概算の工事費が算出されます。

補強計画作成費用に対して、3分の2（最高9万6千円）の補助金が交付されます。



4補強工事

計画に基づき、耐震補強工事を施工します。この工事費用

に対しても補助金があります。一般の世帯は最高30万円、高齢者だけの世帯または身体障害者の人が同居している世帯は最高50万円、耐震補強工事に大井川産材を使用した場合は最高50万円が交付されます。※昨年度も、町内で3件の耐震補強工事がなされました。



5減税措置

固定資産税が一定期間減額され

れます。最高3年間、固定資産税が2分の1に減額されます。所得税の控除もできます。確定申告時に、耐震補強工事と補強計画費の10%（最高20万円）が税額から控除されます（ただし、自己が居住している持家に限ります）。



昨年8月の地震で倒壊した木造家屋（牧之原市）

その他の補助

ブロック塀などの撤去にも補助があります。撤去

工事にかかる費用と、町で算定した基準額のいずれか少ない金額（最高10万円）が補助されます。補助対象は、道路などに面している、高さが80センチ以上のものです。

これらの補助事業には、いくつかの条件があります。不明な点がある場合や詳しい話を聞いてみたいという人は、お気軽に建設課までお問い合わせください。

※町内で住宅を新築する場合にも補助金があります

町内に、定住目的で新築住宅を建築する場合に、町内業者が元請となり、構造材に大井川流域で産出された木材を使用した場合、最高30万円の補助金が交付されます。この補助金には、ほかにも条件がありますので、詳しい内容については建設課までお問い合わせください。